



中宮サロン第十三回例会 朗読GEN公演

二〇〇七年十二月十五日(土)
十五時開演
枚方サン・プラザ5F
生涯学習センター視聴覚室

朗読GEN 2008年の予定

- ・7月12日(土)・13日(日)
第6回定期公演 一心寺シアター倶楽
- ・10月中旬
應典院にて公演予定
- ・12月13日(土)
中宮サロン例会 枚方サン・プラザ
- ・朗読GENの詳細情報はホームページをご覧ください。
<http://book.geocities.jp/roudokugekidangen/>

構成・演出

秋山 多佳

キャスト

金子みすゞの詩
「ぬかるみ」他3編

秋山 多佳

「もしもしよ」 作 村上 春樹

先生

垣内 浩子

もしもしよ

福嶋 左知子

ぼちよぼちよ

秋山 多佳

「フリオ・イグレスias」 作 村上春樹

「トランプ」

僕

田中 章恵

僕の妻

福嶋 左知子

語り

太田 淑子

「驟り雨」 作 藤沢 周平

嘉吉

清水 光恵

母親・若旦那

木村 幸子

おちえ・女中

秋山 多佳

やくざ兄貴

田中 章恵

やくざ巳之

太田 淑子

スタッフ
協力

朗読GEN / 中宮サロン
田中仁美・久米裕喜代

ご挨拶上

本日は師走のお忙しい中、足をお運びくださいませ、まことにありがとうございます。 昨年に続き、中宮サロンの年末例会に出演できましたこと、とても喜んでおります。 今年も、日本のみならず韓国はじめアジアの国々やアメリカでも大人気の村上春樹の不思議ワールドに皆様をいざないたいと思います。 皆様の想像力が刺激され、私達と共に、短い旅に出て下されば何よりです。

また、年の瀬になると、つい過ぎ越し方を振り返るといふ方にふさわしい、しみじみと人生を考えさせられる藤沢周平の時代物をお送りします。 ふとしたことで、悪の道に踏み込んでしまった職人が、これまたふとしたことで、まっとうな道に戻ろうとする物語です。 人間の愚かさ、愛しさが、次々登場する人々の巻き起こす出来事の中にも描かれます。 江戸の町に生きる庶民の切ない暮らしに思いを馳せて頂ければ幸いです。

照明も、音響もあまりないシンプルな舞台ですが、精一杯物語りの世界をお伝えできるよう頑張りますので、どうか最後までご覧くださいようお願い申し上げます。

演出 秋山 多佳

金子みすゞ 1903(明36)～1930(昭5)

山口県長門市(大津郡仙崎村)に生まれる。本名テル。明39、父庄之助清国営口にて死去。弟の正祐、下関の上山文英堂書店店主、上山松蔵の養子となる。大8、母ミチが松蔵と再婚。16才で雑誌「童話」に投稿、西條八十に認められる。23才で文英堂番頭、宮本啓喜と結婚。その年、娘ふさえ誕生するが、夫婦仲はうまく行かず翌年発病。その後夫に創作を禁じられ、結局離婚する。しかしふさえの養育をめぐる争いとなり、26才で自殺する。その後長く作品は埋もれたままであったが、ようやく昭59に全集刊行。

【朗読GENプロフィール】

2003年に結成した朗読劇団。劇団名のGENは初めての“元”、元気の“元”を意味している。 純文学、童話、推理小説などジャンルを問わず取り上げ、どんなスペースでも公演を行っている。昨年は中宮サロンの例会として神社で公演。 年1回の定期公演は7月に行っている。